

授業科目名	英語科教育法 I	教員名	早瀬 沙織	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
科目番号	SID323	配当年次	3年前期	こども音楽療育士		
授業形態	演習			情報処理士		
単位数	2単位					
科目						
施行規則に定める科目区分						
一般目標	<p>外国語活動・外国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された外国語活動・外国語科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>(1) 外国語活動・外国語科の目標及び内容 学習指導要領に示された外国語活動・外国語科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2) 外国語活動・外国語科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到達目標	<p>(1) 外国語活動・外国語科の目標及び内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導要領における外国語活動・外国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</li> <li>3) 外国語活動・外国語科の学習評価の考え方を理解している。</li> <li>4) 外国語活動・外国語科の背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> </ol> <p>(2) 外国語活動・外国語科の指導方法と授業設計</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</li> <li>2) 外国語活動・外国語科に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</li> <li>3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</li> <li>4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	<p>小学校の外国語活動・外国語科を指導する上で必要な基礎的な知識と実践力を身に付けることをねらいとする。小学校外国語教育の経緯と現状、学習指導要領の目標及び内容、主教材、ICTの活用、小学校外国語教育に関連する学問領域について理解する。授業の後半ではグループごとに模擬授業を実施し、基本的な実践力を養う。授業を実施する際に必要な教室英語も確認しながら授業を進める。</p> <p>アクティブラーニングの種別：グループワーク、指導案作成、模擬授業、振り返り</p>					
履修条件・注意事項	本科目を受講してから、「英語科教育法Ⅱ」を受講することが望ましい。					
授業計画	<p>第1回： オリエンテーション 小学校での外国語活動について振り返り、共有する。</p> <p>第2回： 小学校外国語教育の目標 学習指導要領におけるポイント、小学校外国語教育のこれまでの経緯と現状、外国語活動・外国語科の目標について知る。（目標(1)-1), 2)）</p> <p>第3回： 関連分野から見る外国語教育 第二言語習得理論、発達段階、コミュニケーション能力など外国語教育に関連する理論について理解する。（目標(1)-4), (2)-1)）</p> <p>第4回： 教材、ICTの活用 外国語活動・外国語科の主教材について知り、デジタル教科書等のICT活用の現状を理解する。（目標(1)-1), 2) , (2)-1), 2)）</p> <p>第5回： 活動</p>					

	<p>外国語活動・外国語科の教材の活動について知り、実際に行ってみることで外国語活動と外国語科における活動について理解を深める。(目標(1)-1), 2), (2)-1)</p> <p>第6回: 指導法、評価 外国語活動・外国語科の指導法について知り、どのような違いがあるのか理解する。また、指導と評価の一体化について理解し、評価の種類や方法についても知る。(目標(1)-2), 3)</p> <p>第7回: 指導者、指導計画、指導案 外国語活動・外国語科の指導者について、年間指導計画や単元計画を踏まえた上で、指導案を作成することについて理解する。(目標(1)-1), (2)-1), 2), 3)</p> <p>第8回: 授業実践映像視聴① 外国語活動の授業実践映像を視聴し、意見交流をすることで、授業のイメージを持つ。(目標(2)-1), 2)</p> <p>第9回: 授業実践映像視聴② 外国語科の授業実践映像を視聴し、意見交流をすることで、授業のイメージを持つ。(目標(2)-1), 2)</p> <p>第10回: 模擬授業準備① 模擬授業に向けて、教材研究、指導案作成を行う。(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2), 3)</p> <p>第11回: 模擬授業準備② 模擬授業に向けて、指導過程、教材の準備を行う。(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2), 3)</p> <p>第12回: 模擬授業① グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4)</p> <p>第13回: 模擬授業② グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4)</p> <p>第14回: 模擬授業③ グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4)</p> <p>第15回: 模擬授業④ グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4)</p> <p>期末試験(試験期間中に実施する)(目標(1)-1), 2), 3), 4)</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前事後に、授業で配布した資料や参考書や参考資料に目を通し、授業内容について自分なりに整理し直し、理解を深めること。</p>
学生に対する評価	<p>定期試験25%、確認テスト25%、模擬授業30%、授業中の活動・発表20%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において口頭で行う。</li> <li>・レポート・答案等にコメントを記載し返却する。</li> </ul>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 外国語活動・外国語編』(ISBN-13: 978-4304051685)</li> </ul>
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 外国語・外国語活動』</li> <li>・文部科学省『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』</li> </ul>
担当者からのメッセージ	<p>毎回の復習を大切にして、小学校の外国語活動・外国語を指導できる知識と技能を身に付けて行きましょう。</p>
オフィスアワー	<p>授業前後の時間</p>
備考	